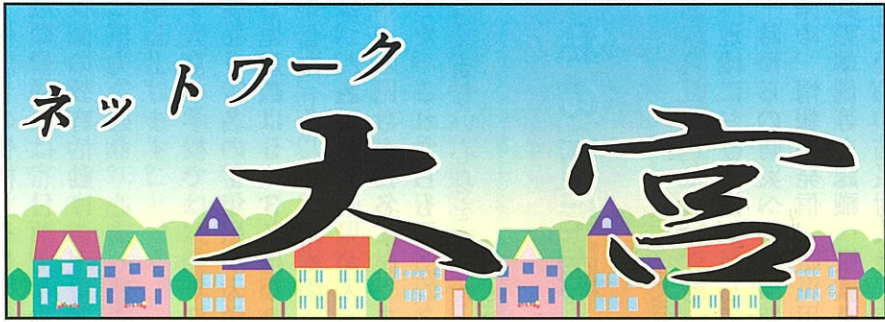


大宮校区人口

町名	世帯数	令和6年8月1日現在		
		男	女	計
加守町1丁目	562	539	520	1,059
加守町2丁目	531	506	541	1,047
加守町3丁目	442	431	415	846
加守町4丁目	1,057	1,017	1,065	2,082
宮前町	529	483	525	1,008
西之内町	1,713	1,769	1,914	3,683
合計	4,834	4,745	4,980	9,725
最大年5月比	△ 320	▲ 663	▲ 771	▲ 1,434



第 62 号

令和6年10月1日

発行所 大宮地区市民協議会
発行所 竹原郁二
編集者 広報部
連絡先 大宮地区公民館内
加守町4丁目6番18号 ☎444-7138

この度、大宮地区市民協議会の会長に就任しました、加守町四丁目町会の竹原です。

大宮地区市民協議会は事務局と環境・福祉・人権・広報・体育・防災の6部会で地域のコミュニティの構築を図るため様々な取り組みをしています。但し、青少年育成については事務局直轄として運営されています。

コロナ禍で中止となっていた多くの行事もほぼ再開しましたので、今年は例年通り活動を行います。そして大宮校区6町の結束をはかり、安全・安心で楽しく住みよい町づくりに取り組むつもりです。

その中で、昨年度来懸案のみんなの広場敷地として大規模な民間のこども園を作り、市立大宮幼稚園と市立大宮保育所を廃止するという岸和田市の提案に対して再考するよう要望書を提出し、岸和田市からの回答が返ってきたところで、すが、広く意見を聞き皆さんとともに解決していこうと考えています。

最後に大宮地区市民協議会に対して皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

幼稚園・保育所再編計画に 関する要望書提出 「賢い縮小」を考える

副事務局長 善野昌明

事務局

市民協議会は再編計画に対する要望書を3月末に提出しました。要望の骨子はわざわざ今ある施設を統合して大きなものを作るのではなく、現有施設の有効活用を求めるものです。

市より回答をいただきましたが、地域の状況を考慮して「総論」での回答のように思われます。市の財政負担を減らすことを一番の目的とされていますが、市の負担は軽くなっても国・府が補助金として施設建設や維持に多くの税金が投入されますので、我々

国民の負担は避けられませんが、消費税率増や国債発行による借金増に繋がるかもしれない、民間委託すればコスト削減できると思ってしまうのは危険です。

大宮校区の未就学児童数はこの8年間で35%（市内は30%）減少しています。毎年3%の減少が続くとすると30年後には6割減少します。公的機関の将来人口推計では、岸和田市は2050年の30年後に28%減となるとされていますが、未就学児童は倍の速度で減少する心配もあります。

統合施設は翌年から定員未達状態になることも心配されますし、他園との園児獲得競争で廃園となる施設が出るのを早めてしまいうでしょう。

人口減少は避けられぬ物になっています、これから今までのような成長や維持の発想を捨て人口減が悪い事ではなく、1人当たりの幸福度が高まるかどうかを問う、賢い縮小（スマートシユリンク）を目指す時代になるでしょう。

1日でも早く切り替えるばかりです、行政が成り立たなくなる前に30年先（建物の目標対応年数の65年先）のことを想像して行政判断されることを願うものです。

令和6年3月29日

岸和田市長 永野 耕平 様
岸和田市教育委員会教育長 大下 達哉 様
岸和田市議会議員 松本 妙子 様

大宮地区市民協議会
会長 杉原 俊次

岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画に関する要望書

春暖の候、貴職にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は当市民協議会の運営等に何かとご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記のことについて当市民協議会で検討を重ねて参りましたが、この中期計画の大宮地区に係る部分について見直しを求めるものです。大宮地区に暮らす1万人の地域住民の声を行政につなぐ組織として、特に子育て世代やこれから地域を担う人たちの不安を無くす必要があります。

中期計画では令和10年4月に市立幼稚園と市立保育所を統合して150~160名規模の民間認定子ども園を開設されるとされていますが、予定されている所はこの規模の施設用地としてはふさわしくないと判断しています。出生数減少社会において、わざわざ子ども達を狭い敷地に閉じ込める必要もありません。

年々出生数が低下している中で大きな施設を作る必要もなく、今の幼稚園と保育所をしばらく存続して、合計児童数が100名ほどになった時点で公設の認定子ども園として統合してはどうでしょうか。

民間認定子ども園を否定するものではありませんが、公設の施設はひとつ残して頂き、民間園を希望する人には市内の他園に通園していただければと考えています。

大宮地区が子育て世代に選ばれることが地域の将来を決めます。また、この部分に投資することが市・府・国のかたちを決めます。特段のご配慮を賜りたく、大宮地区市民協議会を代表し要望いたします。また、回答下さいますようお願い申し上げます。

岸総広第253号
令和6年4月8日

大宮地区市民協議会
会長 杉原 俊次 様

岸和田市長 永野 耕平

「岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画に関する要望書」に対する回答について

令和6年3月29日付けで提出されました標記の要望に対し、以下のとおり回答します。

【要望内容】

中期計画では令和10年4月に市立幼稚園と市立保育所を統合して150~160名規模の民間認定子ども園を開設されるとされていますが、予定されている所はこの規模の施設用地としてはふさわしくないと判断しています。出生数減少社会において、わざわざ子ども達を狭い敷地に閉じ込める必要もありません。

年々出生数が低下している中で大きな施設を作る必要もなく、今の幼稚園と保育所をしばらく存続して、合計児童数が100名ほどになった時点で公設の認定子ども園として統合してはどうでしょうか。

【回答】

少子化については、本市も例外ではなく、未就学児の減少が予想されます。公立幼稚園の小規模化がすすむ一方、未入所児を含む保育ニーズは未だ増加傾向となっています。また、施設の老朽化に伴う立替えや改修に関しても、施設の大半が築40年以上を経過していることから、早期に解消すべき課題であると考えていますが、今後の自治体経営を考えた場合、費用の多くを市の財政負担で賄わなければならない公設施設をそのまま維持し、運営していくことはたいへん困難な状況です。

これらの課題に対応するため、待機児童の問題だけでなく、施設の老朽化や幼稚園の小規模化を改善し、就学前児童の教育・保育環境の向上を目的として、保育所と幼稚園を集約し、認定こども園化する再編計画を策定しました。

公立施設の果たすべき役割は、支援を必要とする児童に適した教育・保育の環境整備などの「セーフティーネット機能」の確保、ならびに、就学前教育・保育に関する試験的事業の実施や小学校との接続カリキュラムなどの研究及び民間園への普及・支援など「コーディネート機能」の確保であると考えます。一方、就学前における教育・保育については、既に民間施設を運営する多くの法人が、教育・保育の提供主体となっており、各園の保育理念に基づいた様々な活動を実施するなど、特色ある教育・保育が提供されている十分な実績があります。

再編計画においては、公立の幼稚園及び保育所で培ってきた知識や経験をしっかりと継承していくことが大切であると考えており、市と民間園との連携・協力体制をさらに強化し、本市の教育・保育環境の充実を図ってまいります。

広告

豊かでたくましい心身を！
のびのびと元気で明るい子ども！

校長 八木 元彦

大宮小学校
幼稚園



この4月から大宮小学校・幼稚園の校長になりました。八木元彦です。

保護者の皆様、そして地域の皆様には、日頃より本校園の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

大宮小学校では、今年度新しく77名の1年生が入学し児童数は543名になりました。そして、幼稚園では、20名の新入園児が入園し、園児数が49名になりました。これからも「豊かで、たくましい心身を育てる」

のびのびと元気で明るい子どもを育てることを学校（園）目標に掲げ、教職員が一丸となり子どもたちの成長を育んでまいりたいと思いますので、保護者の皆様、地域の皆様これからもどうぞよろしくお願いいたします。

この1学期、さまざまな教育活動に取り組みました。その中で、6年生は5月に一番楽しみにしていた修学旅行に行きました。志摩スペイン村に鳥羽水族館、みんなで協力し思い出に残る修学旅行になりました。また、幼稚園では、毎月お誕生会を開いていきます。歌や先生からのプレゼントをして子どもたちの誕生月をお祝いしました。

私の所に限って

会長 花岡 俊也

防災部会

- 地域における役割として平時からの防災への知識を深め、情報の発信、防災用具の準備等を認識。家族を守るための防災対策として地域の活動に参加し、地域全体での協力体制の構築。災害が起こってからでは遅く、日頃からの行動が必要です。
- ① 避難計画の作成と訓練
 - ② 緊急連絡先の確認
 - ③ 非常食の備蓄
 - ④ 必要物資の準備
 - ⑤ 家の耐震診断と補強
 - ⑥ 防災情報の把握
 - ⑦ 隣人とのコミュニケーション
 - ⑧ 災害保険の確認

⑨ 避難場所の確保
⑩ 子供への防災教育
地域全体で備える事は、住民の安心感と心の安定にも繋がります。災害は身体的な被害だけでなく、精神的な影響も及ぼします。地域全体で備えを行っている、住民は自身や家族の安全を守るための手段が整っていると言う事に安心感を持ちます。

防災への意識を持つことは、子供たちにとっても重要な意味を持ちます。学校、地域における防災教育や訓練を通じて、子供たちは災害に対する正しい知識や行動パターンを学ぶきっかけと

福祉部会と私

会長 道齋 清美

福祉部会

私は市民協発足の時から福祉部会の部長として今日までずっと携わってきました。各町2年任期の持ち回りになって、どの町の部長さんも初めての役で戸惑なります。そして、将来のリーダーシップ発揮に地域防災体制強化の重要な要素となるものと思慮いたします。

備える事は、危機管理とも密接に関連しています。過去の災害の教訓を活かして地域の特性等を考慮した対策を進める事で、地域の防災力を向上させることが出来ます。「私の所に限って」という考え方を直しましょう！

いながら行事を行ってこれませんでした。

ただ、この4年間は新型コロナウイルスの影響で活動らしい活動が出来ませんでした。が、今年度からは緊急の規制が無い限り予定している福祉部会の行事をやりきっていきたいと思っています。

取り組みを進めるにあたっては部長より事務局長さんが大変で、いろいろな交渉を全面的に推進して頂いています。事務局長さん、部会員の皆さまご協力よろしく願っています。

とにかく、この2年間皆さんに楽しんでいただける行事ができますよう頑張っています。

大宮校区運動会

事務局 櫻井 定

体育部会



今年度より体育部会事務局を務めさせていただきます。す加守町四丁目の櫻井です。よろしく願います。

5月12日（日）大宮小学校の運動場で大宮校区運動会が開催されました。あいにくの天候で時おり雨が降る状況でしたのでプログラムの一部を変更して行いました。

幼稚園・小学校・一般の方たち約170名が参加して大玉転がしや大綱引きなど楽しい運動会を行いました。

運動会終了後に大抽選会を行い皆さん楽しくドキドキした時間を過ごすことができました。今回は天候の都合により午前中で終わることになりましたが、おかげさまで最後まで運動会を無事終わることができました。参加者並びに準備、警備してくださった方々ありがとうございました。

りがとうございました。

6月1日（土）加守町四丁目町会館にて体育部会の反省会を行いました。反省の一つに人員（スタッフ）の少ないことが取り上げられ安全・安心に競技を行うには多くの人員が必要で、皆様のご協力をお願いいたします。



身近な事から

会長 米田 美和

環境部会

今回、環境部会の部長をさせて頂きました。私は環境部会が3年目でまだまだ経験不足ですが、しっかりと取り組んで行きたいと思っています。

今年3月に部会から岸和田市貝塚市クリーンセンターに見学に行かせて頂きました。初めての見学でしたが市内で出る大量のゴミに圧倒されました。SDGs（持続可能な開発目標）



和を大切に 精一杯頑張ります

町会長 原田光雄

西之内町



この度、西之内町町会長に就任しました原田光雄です。

昭和31年2月生まれ現在68歳よろしくお願いいたします。

私がこのように町会に関わるようになったのは、前任の会長から誘われて軽い

今年の盆踊り大会

町会長 西村忠

加守町2丁目

今年も8月11日と12日に町内盆踊り大会を実施しました。

近隣各町で昔ながらの盆踊りが徐々に少なくなっていくなかで、当町の盆踊り大会の特徴は、伝統を守り・手作りの盆踊りを継続していることです。

①まず、盆踊り大会の運営費は町内の各家庭や他町関係先のご寄付で賄っていることです。この寄付集めは町内の役員(班長・区長)にご苦勞をおかけしています。ご寄付をいただいた家庭の名前と金額を手書きの芳名一覧(エビ書き)にして会場に貼り出します。

②昔ながらの「櫓やぐら」を組み、また多くの提灯を吊り下げ雰囲気盛り立てます。

③老人クラブ・成年会・婦人会・子供会・町会の各種団体が手作りの飲食物



町会の一員となつてからは、数々の年間行事を実施するにあたって、各団体との連携、協力が必要で和の大切さを感じました。

精一杯できるように頑張りたいと思っています。



ずつお配りしています。

コロナの3年間を経て、昨年盆踊り大会を再開しましたが、改革しなければならぬ点もあるとの声もあり、年初から「盆踊り改革プロジェクト」を発足して、若い人を中心に各種の意見をいただきました。

その中から、今年は次の内容を実施しました。

①提灯の配線システムを見直し、電球は全てLEDに変更しました。

②抽選会の内容を変更しました。抽選会が長すぎるとの意見もあり当選本数を減らし、景品を豪華にしました。

③各種団体の出店内容も販売価格をアップして皆さんに喜んでもらえる物に変更しました。

④最後に終了時間を1時間早くして、7時から10時までに変更しました。

このような内容で、伝統を守りながらも、一部変更して今年の盆踊り大会を実施しました。ケガや事故もなく大勢の皆様の参加をい

納涼祭

広報部長 松林浩一

加守町1丁目

加守町一丁目は8月3日午後6時から9時まで加守町一丁目児童遊園にて納涼祭を実施しました。



夕涼み会

副会長 玉野圭三

加守町3丁目

加守町3丁目は新型コロナ感染拡大の時期が終息した昨年より夏祭りの位置づけを「夕涼み会」として再開しました。

コロナ禍以前は「カラオケ大会」をメインにイベントを行っていましたが、今では老人クラブは会館の2階で自由にカラオケを楽しみ、会館前の広場では子供たちがゲームをしたり、各種屋台を設置しました。また新しい試みとしてキッチンカーを導入、昨年は「ワッフル」今年は「クレープ」を販売しご来場の皆様に好評を得ました。

少子高齢化の影響もあり我が町もボランティアとしてイベントを支えるスタッ



フも減少し高齢化も進んでいます。そんな状況で従来のイベントを継続するため「キッチンカー」を導入し、また大規模な抽選会を廃止して「スピードくじ方式」を採用し何等賞の商

品ではなく「商品名」が記載されたくじを引いていただいて、その場で当選商品をお持ち帰り頂きました。今後も町会として各種団体の方々と協議して効率的でかつ参加する皆様のご満足を得られるようなイベントを企画して参りたいと考えていますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

納涼大会

実行委員長 櫻井定

加守町4丁目

8月3日(土) 加守町四丁目会館と駐車場にて納涼大会を行いました。

昨年まではコロナの影響で模擬店に出店する食べ物制限していましたが、今年は保健所の意見を聞き、

おでん・カレーライス・おにぎり・フランクフルトなどを販売、おでんは、会館内の冷房の効いた部屋で販売、カレーは屋外にてガス火で温めながら販売しました。



納涼祭

副会長 善野昌明

宮前町

連日、体温に近い猛暑の中で7月27日(土)に「納涼祭」を開催することができました。昨年の4樽から5樽(50リットル)に増やした生ビールも7時過ぎには売り切れとなっていました。楽しみに来ていた

品ではなく「商品名」が記載されたくじを引いていただいて、その場で当選商品をお持ち帰り頂きました。今後も町会として各種団体の方々と協議して効率的でかつ参加する皆様のご満足を得られるようなイベントを企画して参りたいと考えていますのでご協力の程よろしくお願いいたします。



だいた方には申し訳ありませんでした。

今年は新たに「抽選会」を実施しましたが、抽選券を97名の方に投函していただきました。

宮前町の幼児から高校生を対象に無料のゲーム券(5枚綴り)を配布していますが、46名の子ども達に利用してもらいました。

今年も猛暑の中での「納涼祭」の開催となりましたが夜になれば少しは涼しくなるとい季節感はなくならないと思います。医療関係者や報道機関からは外出を控えるようにとのアドバイスも出されています。

そこで、来年は9月末開催の方向で準備することとしました。今年はビヤガーデンも暑すぎて利用者が減っているようです。丁度、このころの方が落ち着いて生ビールを飲めるかも知れません。

大宮地区市民協議会
総会を開催

大宮地区市民協議会（会長 杉原俊次）は5月18日「大宮地区公民館」に於いて第35回総会（出席者数60名）を開催し、令和5年度事業報告・決算報告、並びに令和6年度役員改選（新会長に竹原郁二）・事業計画・予算などが承認されました。

事業計画

事業計画は諸般の事情により大きく変更することがあります

新役員紹介

会長

竹原 郁二（加守町四）

副会長

齊藤 健二（加守町一）

西村 忠（加守町二）

杉原 俊次（加守町三）

宮井 萬吉（宮前町）

原田 光雄（西之内町）

顧問

米田 貴志（加守町二）

烏野 隆生（宮前町）

阪本 美奈子（光陽中）

新家 幹雄（野村中）

八木 元彦（大宮小）

会計監査

八木 君子（加守町四）

角谷 博子（加守町四）

- 事務局長 西村 忠（加守町二）
副事務局長 齊藤 健二（加守町二）
善野 昌明（宮前町）
会計 植村 謙藏（西之内町）
書記 福井 健志（加守町三）
副書記 梅本 一成（加守町四）
環境部会 米田 美和（加守町二）
福祉部会 道齋 清美（宮前町）
人権部会 田中好三郎（西之内町）
体育部会 松田加代子（加守町四）
防災部会 花岡 俊也（加守町二）
広報部会 玉野 圭三（加守町三）
環境事務局 屋名池マユミ（加守町一）
福祉事務局 土井 昭男（宮前町）
人権事務局 植村 謙藏（西之内町）
体育事務局 櫻井 定（加守町四）
防災事務局 甲地 捻彦（加守町二）
広報事務局 緒方 清孝（加守町三）

岸和田市青少年指導員協議会

「ここはあぶない」

大宮地区校区長 川端 秀明

平素は青少年指導員活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。我々青少年指導員は

- ①危険箇所への看板設置
 - ②兵主神社の夜店開催時のパトロール
 - ③夏期・冬期の研修
 - ④各町の夏祭り時の巡回パトロール
 - ⑤大宮小学校運動会開催時の駐輪場整理
 - ⑥旧市及び10月祭礼時の巡回パトロール
 - ⑦市民スポーツカーニバル
 - ⑧歳末パトロール
 - ⑨広報紙「赤シャツ」の発行
 - ⑩その他各種市民協議会行事での応援等
- 年間を通じて青少年の健全育成を基本理念として各種活動を行っています。先日の5月26日に中央公園やため池、各町の危険箇所「ここはあぶない」看板を設置しました。川や池、水路等の近くには子供たちが遊びに夢中になってつい

連合子ども会
サマーフェスティバル

会長 善野 昌明

サマーフェスティバルを8月17日（土）に開催しました。

内容は昨年に続き水風船投げ（9千個）と今年は高学年向けにドッジビー（ボールの代わりにフリスビーを投げる）を加えました。

小雨は決行ですが、落雷



ただけはどうにもなりませんので雷情報を確認。参加者は子どもが約60名と保護者が約25名でした。対象は大宮小学校の児童（子ども会会員以外でも参加可能）としています。夏休み前に小学校にお願いして全児童に案内チラシを配布して頂きました。

準備はグラウンドが校舎の日陰になり始める、3時から12名の育成員が水風船を膨らませます。開始は5時からですが15分程で無くなり、その後の掃除が大変で15分かかりました。

子ども会の課題は沢山ありますが過去にはとられていた持続可能な活動を考えていきます。

タイムカプセル
開封式

加守町4丁目

昨年の11月に四丁目児童遊園内にある昭和57年に建てた記念碑（タイムカプセル）の開封式をしました。

式にはタイムカプセルに記念品を入れた当時の子ども会会員と関係者によって行いました。埋めてから41年経過しましたが、思っていたより保存状態よく掘り出すことが出来ました。皆さん懐かしそうに、自分の品物を見つけ持って帰りました。



令和5年度 一般会計決算書

（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

一般会計収入	
項目	金額
繰越金	1,564,310
各町分担金	315,000
市助成金（自治振興課）	610,150
広報広告収入	115,000
雑収入	103,963
合計	2,708,423

*項目明細は総会資料を簡略化しています。

運営費支出	
項目	金額
事務局運営費	176,634
部会運営費	66,976
広報印刷費	283,624
記念事業積立金	0
予備費	0
合計	527,234

*項目明細は総会資料を簡略化しています。

事業費支出	
項目	金額
街頭パトロール	30,000
連合子供会ソフトボール	120,000
校区親善運動会	23,925
環境美化活動	20,090
祭礼観覧招待	9,568
人権問題研究会	7,083
小学校運動会招待	11,371
スポーツカーニバル	115,000
大宮幼稚園世代間交流	2,995
シニア交流会	0
校区親善スポーツ大会	69,180
親子風揚げ大会	102,505
シニア運動会	0
春木川・轟川一斉清掃	9,460
大宮館祭り出店	81,094
防災コミュニティ	42,268
事業予備費	0
合計	644,539

*予算は紙面の都合で非掲載としています。

令和5年度 特別会計決算書

（自2023年4月1日 至2024年3月31日）

記念事業費収入	
項目	金額
繰越金	787,632
積立金	0
合計	787,632

記念事業費支出	
項目	金額
記念事業費支出	0
合計	0

広告

